

2008. 1月号

都市みらい通信 IFUD LETTER

Institute for Future Urban Development



【目次】

- ・平成19年度プロジェクト説明会開催
「東京ミッドタウン」 P 1
- ・神戸開港140年 こうべからの発信～神戸市～ P 2～3
- ・平成20年度 都市・地域整備局関係の予算案について P 4
- ・機構の活動状況 P 5
- ・会員紹介 清水建設株式会社 P 6

《ハイライト》

- ・平成19年度プロジェクト
説明会開催
「東京ミッドタウン」

§ 平成19年度プロジェクト説明会開催 「東京ミッドタウン」

平成19年度プロジェクト説明会を去る12月10日（月）に六本木の東京ミッドタウンにおいて開催しました。当日は師走のお忙しい中、約50名の方々にお越し頂きました。

東京ミッドタウンプロジェクトは、平成19年度の当機構主催（国土交通省後援）の土地活用モデル大賞選定におきまして、(財)都市みらい推進機構理事長賞を受賞された、広大な緑地を含むオープンスペースとともに、オフィス、商業施設、賃貸住宅、ホテル、デザイン関連施設、メディカルセンター、ホール&カンファレンスからなる複合開発プロジェクトです。

また、先日香港にて開催されましたMIPIM ASIA 2007（不動産プロフェッショナル国際マーケット会議2007）において、MIPIM ASIA AWARDS（最優秀賞）を受賞されたプロジェクトでもあります。

講演では、三井不動産（株）の森本様よりプロジェクトの概要について説明頂き、質疑を行いました。その後、1時間ほどミッドタウン内を案内していただきました。

以前の防衛庁及び檜町公園が変貌をとげたプロジェクトの説明とともに、話題となっていたクリスマスイルミネーションも鑑賞でき、得をした雰囲気のあるプロジェクト説明会となりました。

六本木ヒルズとともに六本木の顔となった東京ミッドタウンには、当日も多くの人が訪れていました。





§ 神戸開港140年 こうべからの発信～神戸市～



はじめに

神戸は、国際港湾都市として発展を続け、2007年に開港140年を迎えました。06年には空の玄関口である神戸空港（マリンエア）が開港し、07年には「華商世界大会」や「神戸ビエンナーレ2007」を開催するなど、人・物・情報が集まる交流拠点として発展を続けています。

ここでは、ポートアイランドで展開される神戸の発展を支える2つのプロジェクトについてご紹介したいと思います。



ポートアイランドと神戸空港島

神戸医療産業都市構想

神戸市ではこれからの神戸づくりの指針として「豊かさ創造都市こうべー神戸2010ビジョン・区中期計画」（目標年次2010年）を04年度に策定いたしました。このビジョンでは5つの重点テーマを掲げ、その中には「産業・観光による都市の魅力・活力の向上」「安心で健やかな地域社会の実現」といったテーマがあります。

神戸医療産業都市構想は交通アクセスに優れた人工海上都市ポートアイランド第2期を中心に、高度医療技術の研究・開発拠点を整備し、21世紀の成長産業である医療関連産業の集積を図ることで、①雇用の確保と神戸経済の活性化、②先端医療技術の提供による市民福祉の向上、③アジア諸国の医療水準の向上による国際貢献を目指すものです。日本初のライフサイエンスに係るクラスター形成に向けて先端医療センターをはじめ中核となる医療施設は次々に開業及び開所し、ポートアイランド第2期へ進出または、進出を予定している医療関連企業は115社となっています。

今後も、関西の産学官の連携と市民参画のもと、高度医療サービスを提供する「メディカルクラスター」の形成や市民の科学的な健康づくりを支援する「健康を楽しむまちづくり」の具体化、さらには優秀な臨床医や研究者等の集積によりイノベーション創出を加速する「メディカルイノベーションシステム」の構築に向けた取り組みを推進していきます。

次世代スーパーコンピュータについて

独立行政法人理化学研究所は、2007年3月28日、次世代スーパーコンピュータ施設の立地地点を神戸市（ポートアイランド第2期）とすることを決定いたしました。2006年7月から立地検討部会において15の候補地について評価がなされ、神戸は客観的・科学的な評価の結果である評価点、施設の整備費・運用費のコスト評価結果、プロジェクトの達成目標の一つである研究教育拠点の形成に資する研究支援等を総合的に勘案すると、最も優れた候補地であるとの判断を頂きました。

一般に「スーパーコンピュータ」とは、様々な分野の大規模科学技術計算を行うための超高速処理が可能なコンピュータのことです。日本では、横浜市にある独立行政法人海洋研究開発機構の地球シミュレータが有名ですが、神戸に設置されるスーパーコンピュータの計算能力は10ペタフロップス（1秒間に1兆の1万倍（10の16乗））超で、地球シミュレータの約250倍の能力を有するものです。ライフサイエンス、ナノテクノロジー、ものづくり、航空・宇宙工学、防災、原子力、地球環境、天文・宇宙物理分野など多様な分野で利用可能で、神戸でのビジネスチャンスが格段に広がるとともに、無限の可能性を秘めています。

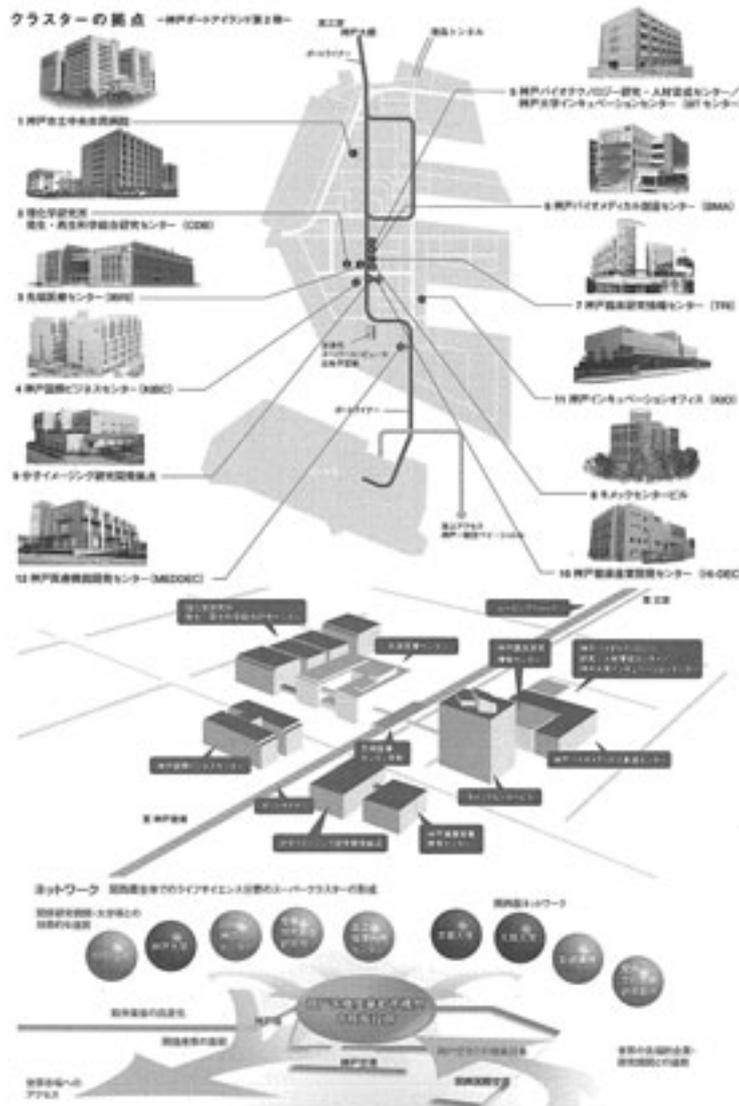
神戸市では医療産業都市構想ともあいまって、国内外の研究者や産業界のユーザーに対する研究利用支援を行うとともに、この次世代スーパーコンピュータを最大限活用して、未来に拓かれた神戸の実現に向けて努力してまいります。



全国6空港（札幌・仙台・羽田・鹿児島・
沖縄・石垣）と結ばれている神戸空港



神戸空港と関西空港を29分で結ぶ
神戸-関空ベイ・シャトル



医療産業都市構想 クラスターの拠点

【連絡先】 神戸市東京事務所 03-3263-3071 (担当：廣本・小出)



§ 平成20年度 都市・地域整備局関係の予算案について

昨年暮れの12月24日に平成20年度予算の政府原案が決定しました。このうち、都市・地域整備局の都市整備関係の予算は、以下のとおりです。

○平成20年度 都市整備関係予算額（国費） （単位：百万円）

事 項	前年度予算額 (A)	20年度予算額 (B)	対前年度倍率 (B/A)	備 考
		(618,899)	(0.95)	
下水道事業	651,662	617,669	0.95	
都市公園事業	110,349	104,790	0.95	
都市環境整備事業	344,553	344,294	1.00	
市街地整備	292,358	292,707	1.00	
まちづくり交付金	243,000	251,000	1.03	
その他市街地整備	49,358	41,707	0.84	
道路環境整備	2,200	2,100	0.95	
都市水環境整備	49,995	49,487	0.99	
都市水環境整備	44,626	44,173	0.99	
緑地環境整備	5,369	5,314	0.99	
小 計	1,106,564	1,066,953	0.96	
街路事業	457,348	420,648	0.92	
街路事業	336,839	310,605	0.92	
土地区画整理事業	100,320	90,969	0.91	
市街地再開発事業等	19,049	17,938	0.94	
街路交通調査	1,140	1,136	1.00	
都市再生事業資金貸付金等	410	200	0.49	
小 計	457,758	420,848	0.92	
都市・地域整備局（一般公共事業費） 計	1,564,322	1,487,801	0.95	
災害関係	538	538	1.00	
行政経費	5,454	6,627	1.22	

1. 本表の他に、内閣府一括計上の地域再生基盤強化交付金(20年度予算額：144,608百万円、前年度：141,833百万円、1.02倍)があり、下水道事業の予算額の上段()書きは20年度に交付金化した額(1,083百万円)を含んだ計数である。
2. 都市再生事業資金貸付金等には、連続立体交差事業資金貸付金を含む。
3. 20年度予算額には、重点施策推進要望に係る施策として、53,012百万円を含む。

○まちづくり交付金の拡充

地域の創意工夫を活かした全国都市再生をより一層推進するため、事業規模の拡大を図る。

(1) 予 算 （単位：百万円）

区 分	前年度予算額	20年度予算額	倍 率	備 考
予算額(国費)	243,000	251,000	1.03	

(2) 概 要

市町村都市再生協議会が行う官民協働事業への支援や、複数市町村により一本化された都市再生整備計画に基づき行われる連携事業への支援を強化。

歴史的風致の維持向上に係る計画に基づく事業を行う地区が一定の要件を満たす場合について、基幹事業に古都及び緑地保全事業等を追加する。

(資料：平成20年度 都市・地域整備局関係予算決定概要より)



§ 機構の活動状況

日	12月	日	1月
5	JAPICと連携方策協議（品川新拠点研究会関連：事務局対応）	16	不動産プロフェッショナル国際マーケット会議（MIPIM2008）日本ブース出展者準備会議
6	東京都と意見交換（品川新拠点研究会関連：事務局対応）	18	「普天間飛行場跡地利用計画策定推進調査」合同意見交換会
10	プロジェクト説明会（東京ミッドタウン）	21	鉄道跡地等大規模空地土地利用転換評価委員会（第1回）
14	鉄道跡地等大規模空地土地利用転換評価委員会（第1回）	25	品川新拠点研究会コアメンバー会議（事務局、座長、アドバイザー）
14	都市近郊農村地域の土地粗放化研究ヒアリング（千葉大齋藤准教授）	29	「地権者の協調・協同によるまちづくりの事業方策に関する検討調査」検討会
20	品川新拠点研究会幹事会		
20	東京商工会議所地域振興部と意見交換		
20	JTBと意見交換（他組織連携）		
21	「普天間飛行場跡地利用計画策定推進調査」意見交換会（東京）		
25、26	「普天間飛行場跡地利用計画策定推進調査」意見交換会（沖縄）		
27	相模原市と意見交換		

【機構関係諸団体】

《インテリジェントシティ整備推進協議会》

25	ユビキタス・ユニバーサルまちづくり研究会・WG（第2回）	17 30	幹事会 平成19年度第1回公民情報交流会（共催）
----	------------------------------	----------	-----------------------------

《地方の拠点まちづくり協議会》

4 21	運営会議 大洗研究会（第2回）	30	平成19年度第1回公民情報交流会（共催）
---------	--------------------	----	----------------------

《都市地下空間活用研究会》

3	地下利活用制度整備検討分科会岸井座長報告	16	都市再開発における公的空間の利活用整備制度のあり方研究報告会（UITと共催）
5	第2回地下利活用制度整備検討分科会	18	地下利活用制度整備検討分科会幹事（コアメンバー）会議
6	大阪分科会	23	第1回八重洲・京橋・日本橋地区分科会WG会議
10	第5回八重洲・京橋・日本橋地区分科会黒川座長報告		
12	八重洲・京橋・日本橋地区分科会東京都担当部局と打合せ		
13	第5回八重洲・京橋・日本橋地区分科会		
20	事業部会（代表）と企画運営小委員会（代表）合同会議		

《アーバンインフラ・テクノロジー推進会議》

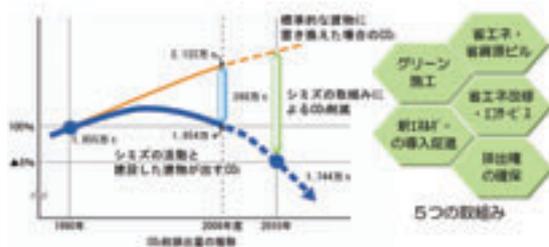
		16	都市再開発における公的空間の利活用整備制度のあり方研究報告会（共催）
		30	平成19年度第1回公民情報交流会（共催）



§ 会員紹介：清水建設株式会社 「清水建設の環境への取組」

当社の環境への取り組みは、1992年のリオのサミット以降、ISO14001を取得するとともに様々な施策・ビジョンを制定し、エネルギー、マテリアル、生態系、有害物質の四つの視点で取り組んでいます。

特にエネルギーへの取り組み（CO₂の削減）では、2006年に「シミズのエコロジー・ミッション CO₂削減6%」を全社のビジョンとして策定しました。過去に建設した建物も含め当社が建設した建物が排出するCO₂を2010年に1990年度比で6%削減することを目的としています。省エネ・省資源ビルの推進として、省エネ法に定められた基準より更に厳しい目標値を設定するとともに「設備効率を上げるためにPHSを活用した空調管理システム、躯体蓄熱によるピークカット」「建物の断熱性能の向上」「光、風、水などの自然の力を生かす設計手法」などを建物に取り入れています。施工段階のCO₂削減の取り組みとして、「発生土の発生量・搬出距離の削減」「省燃費運転や高効率機械の採用」などを行い、完成した後も効率よく使うためのエコサービスやリニューアルまで建物のライフサイクルにわたる様々な省エネルギーを提供しています。新エネルギー分野では、風力発電や太陽光発電などの建設を行うとともに、「複数のエネルギー源と複数の需要家を制御するマイクログリッド」を当社の技術研究所に導入し実証運転を行っています。排出権の確保では、ゼネラルコンストラクターの総合力を生かし排出権の取引だけでなく事業の調査、登録、建設、運営まで一貫して行う日本初のプロジェクトとなったアルメニアをはじめ、世界7カ国、20件のプロジェクトを推進しています。



エコロジー・ミッション イメージ図



建物の省エネルギーシステムの例



マイクログリッドの概念図（郊外型の一例）



排出権活用プロジェクト実績

（財）都市みらい推進機構

住所 東京都文京区音羽2-2-2
アベニュー音羽3階
電話 03-5976-5860
FAX 03-5976-5858
Email kikaku@toshimirai.jp

ホームページもご覧ください
<http://www.toshimirai.jp/>

当機構は、「新しい都市拠点形成等の都市活性化に関する総合的な調査・研究、情報・資料の収集等、民間の技術と経験を活かしつつ、地域社会と調和した活力ある都市づくりの推進を図ること」を目的として、昭和60年7月29日に設立された財団法人です。

- ・まちづくり交付金事業支援
- ・都市拠点開発・都市再生支援
- ・中心市街地活性化支援
- ・低・未利用地有効活用支援 他